

中国・サハリン残留邦人 関係書籍特集 その3

NL36号（2006年5月発行）、NL49号（2010年10月発行）で中国残留邦人等の書籍（手記・体験談・研究書・写真集等）を紹介しましたが、今回はそれ以降のものをご紹介します。

「書名/著者/発行所/定価/発行年月/市販されていない場合は問合せ先/内容について」で、新しい順になっています。

<p>※以前の書籍紹介は、トップ画面→教材・論文コーナー→6) 孤児関連文献等 からどうぞ。『葛根廟事件の証言-草原の惨劇・平和への祈り』</p> <p>新風書房 ¥3700+税 2014/8 葛根廟（かつこんびょう）事件は、昭和20年8月14日、満州に侵攻してきたソ連軍の戦車群によって約1000人が犠牲になった惨劇。</p>	<p>『聞き書きと調査研究「下伊那から満州を考える1」』</p> <p>満州移民を考える会 ¥800+税2014/7 事務局齋藤俊江0265-29-7288 『下伊那の中の満州 聞き書き報告集1～10』の志を引き継いだ、聞き書きと調査研究。</p>
<p>『大連での悲しい思い出』</p> <p>鈴木スミ 文芸社 ¥1100+税2014/6 残留孤児になりかかった筆者の手記。大連で両手両足麻痺の不自由な体となり、帰国後割り箸をくわえて一字一字タイプしたものを筆者の娘がまとめたもの。</p>	<p>『祖国は遠かった-中国残留日本人孤児の証言』</p> <p>山形日中友好協会¥1600（税込）2014/5 平和の碑・中国残留帰国者墓苑建設委員会の高橋幸喜事務局長023-645-3877 残留孤児たちの体験手記。NL58号で紹介。</p>
<p>『満州に輝く星』</p> <p>赤崎大 ¥1200+税 2014/3 赤崎090-8932-1816 旧満州で生まれた少年が、兄と2人だけで生き抜き、帰国するまでの苦難を記した自伝。</p>	<p>『渡満とは何だったのか-東京都満州開拓民の記録-』</p> <p>高橋健男 ゆまに書房 ¥8000+税2013/12 東京都が送出した満州開拓団の入植から引き揚げ、そして戦後の再入植の顛末を詳細に記した史書。</p>
<p>『ウクライナに抑留された日本人』</p> <p>0. ポトイリチャク、Vカルポフ、竹内高明、長勢了治 東洋書店 ¥800+税2013/12ウクライナにも日本人抑留者はいた。「シベリア抑留」の知られざる一面に光を当てるはじめての研究書。</p>	<p>『望郷の鐘 中国残留孤児の父・山本慈昭』</p> <p>和田登 しのき書房 ¥1260（税込）2013/8 みずからも満州で過酷な体験をしながら、生涯を残留孤児たちの肉親さがしにささげ「中国残留孤児の父」といわれた山本慈昭の生涯。</p>
<p>『沈まぬ夕陽』（復刻版）</p> <p>中繁彦 ¥1470+税2013/8信濃毎日出版部</p> <p>026-236-3377敗戦後中国に取り残された残留婦人と孤児たちが祖国に帰国できるよう、献身的に支援を続けてきた中島多鶴さんの活動を綴った書。</p>	<p>『証言 それぞれの記憶』</p> <p>満蒙開拓平和記念館発行 ¥500（税込）2013/8 満蒙開拓平和記念館 0265-43-5580 同記念館の展示コーナー『証言 それぞれの記憶』の13人の証言をまとめた冊子。</p>
<p>『花なき墓標-五戸郷開拓団の終焉-満州開拓団女教師の記録死線をこえて』</p> <p>川崎文三郎、田中コノ、塚原常次 ¥1800+税2013/7 塚原さんFAX：048-874-8287 旧満州の「大青森郷開拓団」についてつづった本を復刻、自費出版。</p>	<p>『千代！旧満州に生きて』</p> <p>石川千代¥800（税込）2013/5 高知県日中友好協会088-825-0513 日本敗戦後に旧満州に取り残されて孤児となり、1984年夏に帰国を果たすまでの日々をまとめた手記。</p>
<p>『風雪に耐えて ある中国残留孤児の記録』</p> <p>島本和成 今谷印刷株式会社 ¥2800（税込）2012/12 広島総合法律会計事務所内 弁護士・秋田智佳子</p>	<p>『風雪に耐えて咲く寒梅のように-二つの祖国の狭間に生きて』 可児力一郎 信濃毎日新聞社 ¥1600+税2012/9 長野県吾妻村（現南木曾町）から渡満。1945</p>

<p>082-227-1100 第15回日本自費出版文化賞のグラフィック部門・特別賞を受賞。</p>	<p>年9月から方正県での残留生活を経て、帰国後の生活の苦勞までを記した手記。</p>
<p>『東京満蒙開拓団』 東京の満蒙開拓団を知る会著 ゆまに書房 ¥1800+税 2012/8 5年の歳月をかけ、書籍、新聞から公文書まで調査し、さらに聞き書きを加え、東京からの満蒙開拓団の全貌をあきらかにする研究書。</p>	<p>『死んでたまるか！満州からの脱出』 福田さだ子 文芸社¥600+税2012/8 著者の回想にとどまらず、文献をひも解き、当時の背景説明と図表を加え、戦争を知らない読者にも理解できるよう著した、満州引き揚げの貴重な記録。</p>
<p>『長春発ビエンチャン行 青春各駅停車』 城戸久枝 文芸春秋¥1800+税2011/11 中国残留孤児だった父親の半生を尋ねて長春に留学した著者が記す、留学中のもうひとつの物語。NL40号で紹介した城戸さんの著書。</p>	<p>『「中国残留孤児」の社会学』 張嵐 青弓社 ¥4600+税2011/10中国残留孤児が日中の狭間でどう生きてきたのかを一世・二世・中国人養父母へのインタビューを通して描き、戦争と日中関係を考える学術書。</p>